

## 京都市消防学校跡地について

- 消防学校跡地は、「京都未来まちづくりプラン」(平成 21 年 1 月策定)において「売却等を予定している土地」の一つとして掲げ、保有資産の有効活用の一環として、売却に向けた取組を進めてきた(別紙 1 参照)。
- 当該地については、約 60 年間にわたり、消防学校として活用されてきた大規模土地であること等を踏まえ、周辺地域の環境と調和し、公共性・公益性が高く、公共の福祉の向上に資する用途に供されるとともに、価格競争性の確保も図るため、「二段階選抜方式」により契約予定事業者を定め、その後、11 月市会へ付議<sup>(※)</sup>のうえ、売却する予定である。

※面積が 1 万㎡以上かつ予定価格が 8 千万円以上の大規模地

## 1 消防学校跡地の概要

- (1) 所在地 京都市伏見区深草越後屋敷町 17 番外 3 筆(別紙 2 参照)
- (2) 地 積 14,774.30 ㎡
- (3) 公法上の規制 第一種住居地域(建ぺい率 60%, 容積率 200%), 20m 第 2 種高度地区準防火地域, 町並み型建造物修景地区, 屋外広告物第 5 種地域

## 2 二段階選抜方式の概要

- (1) 第一段階選抜(プロポーザル)

「京都市消防学校跡地活用計画審査委員会」を設置し、審査委員会において定める募集要項に基づき買受希望事業者を募り、土地活用方法に関する企画提案を求め、提案内容を審査したうえで、一定の基準を満たす事業者を選抜します。

- (2) 第二段階選抜(価格競争)

第一段階選抜を通過した事業者の中で、価格競争を行い、契約予定事業者を決定します。



位置図



売却予定地

墨染通

京阪墨染駅

近鉄伏見駅

